



完全予約制 年に一度の健康チェック

令和3年度 桑折町各種健(検)診

健康診査を受けて、体の状態をチェックしましょう。全ての健(検)診が完全予約制です。受診録に同封されている「健診のお知らせ」に沿って、予約をしてください。

01 集団健(検)診

日程 9月21日、22日、24日、27日～30日、10月1日、2日、4日～6日

場所 保健福祉センター「やすらぎ園」 ※受診録は8月下旬に配布

検診名	対象者	内容	自己負担額※2
特定健診	満40～74歳の桑折町国民健康保険加入者	問診、身体計測、診察、腹囲、血圧、血液検査(貧血、腎機能、尿酸値含む)、尿検査(推定食塩摂取量※3、微量アルブミン※4含む)、心電図検査、眼底検査、インボディ	1,300円
後期高齢者健診	後期高齢者医療加入者※1	問診、身体計測、診察、血圧、血液検査(貧血、腎機能、尿酸値含む)、尿検査、希望により詳細検査(心電図、眼底、貧血、腎機能、尿酸、推定食塩摂取量※3)	無料 詳細検査 300円
結核検診	満65歳以上の人	胸部レントゲン撮影	無料
肺がん検診	満40歳以上の人		
喀痰検診	満40歳以上で喫煙指数が600以上の者、または6か月以内に血痰のあった者 喫煙指数 = 1日の喫煙本数×喫煙年数	喀痰採取検査 胸部レントゲン当日に検診会場にて申し込み、喀痰容器を配布	700円
肝炎ウイルス検診	満40歳の人	血液検査(B型肝炎・C型肝炎) ※41歳以上で受けたことがない受診希望者は問い合わせください。	500円
前立腺がん検診	満50歳以上の男性	血液検査(PSA検査)	500円
胃がん検診	満40歳以上の人	バリウムによる胃部X線撮影	800円
大腸がん検診	満40歳以上の人	便潜血反応検査	500円
歯科健診	満40歳以上の人	歯科医による診察	無料
骨粗しょう症検診	満40、45、50、55、60、65、70歳の女性	骨密度検査	500円

※1 65歳～74歳までの一定の障がいのある人で、後期高齢医療制度に加入している人を含みます。
 ※2 自己負担額が無料になる人…生活保護世帯・町県民税非課税世帯の人。自己負担額判定のため、町県民税課税状況の調査を行います。
 ※3 推定食塩摂取量測定は、尿検査などから1日に接種した塩分量を推計する検査です。
 ※4 尿中の微量アルブミン(タンパク)を検査して、初期の腎障害を発見できる検査です。

02 施設検診

日程 【子宮頸がん検診・乳がん検診】8月～1月 【胃がん検診】8月～11月

場所 指定医療機関 ※受診録は7月下旬～8月上旬に配布

検診名	対象者	内容	自己負担額※2
子宮頸がん検診	満20歳以上で偶数年齢の女性 ※満20歳の方は自己負担なし	子宮頸部の細胞診	1,200円
乳がん検診	満40歳以上で偶数年齢の女性 ※満40歳の方は自己負担なし	マンモグラフィ	1,200円
胃がん検診(胃カメラ)	満50歳以上の偶数年齢者(今年度に限り) 満50歳以上の奇数年齢者も対象	胃内視鏡(胃カメラ)	3,000円

早期発見・早期治療がカギ 第17回

みんなに知ってほしい、がん検診のこと

今、日本人の「2人に1人」ががんになり、「3人に1人」ががんで亡くなっています。しかし、がんは早期発見すれば、治せる可能性は非常に高く、治療も軽く済みます。がん検診の必要性や、皆さんが気になる検査内容や費用について詳しく紹介します。

日本のがん死亡者数

現在、日本の死亡原因の第一位は、がんです。がんによる死亡者数は年間37万人を超え、3人に1人ががんで亡くなっています。1960年代以降、がんの死亡者数は増加し続けており、男女別で見ると、男性は肺がん・すい臓がん・大腸がん・前立腺がん、女性は肺がん・すい臓がん・大腸がん・乳がんにかかると、男性は増加しています。

がん検診とは?

国が推奨しているがん検診には、罹患者と死亡数が多いとされている胃がん検診・子宮頸がん検診・肺がん検診・乳がん検診・大腸がん検診の5種類があり、基本的には症状の

ない人が対象となります。それぞれ年齢や受診間隔が設定されているため、受診の際は自分が対象となっているかを確認しましょう。また、症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

桑折町のがん検診

町では、国が推奨する5種類のがん検診に加え、前立腺がん検診も受けることができます。また、一部の検診(胃がんバリウム検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診)では、特定健診や後期高齢者健診と同時に受けることができます。検診の詳細な日程や内容、自己負担額などは、左記の表またはホームページをご確認ください。

検診を受けるメリットは?

がん検診を受ける最大のメリットは、早期発見・早期治療による救命です。症状が出てから受診した場合、体にかかる負担が大きく、治療に時間を要する場合があります。検診で早期に発見できれば、治せる可能性が非常に高まり、治療も軽く済むことが多いため、身体的・経済的負担が軽減されます。

精密検査は受けるべき?

検診で精密検査が必要(要精検)という結果が出た場合、精密検査まできちんと受けることが重要です。治療が必要な状態であるにも関わらず放置した場合、病気が進行してしまう可能性があります。



▲がん検診は、早期発見・早期治療のためにも、定期的に受けることが大切です

令和2年度に実施した桑折町がん検診では、がん2例、がん疑い4例が見つかっています。早期発見・早期治療のためにも、「要精検」の表示がある人は、精密検査も必ず受けるようにしましょう。